

生徒の実態
・真面目で学習意欲は高く基礎学力は定着している
・主体性や課題解決能力などに課題がある

学校教育目標
確かな学力と豊かな心を持ち、郷土を愛し、たくましく生きる生徒の育成 ～学び合い、高め合う宮中生～

保護者の願い
・基礎・基本の定着
・基本的生活習慣の定着
・生きる力の育成

研究主題
資質・能力の育成をめざした学びの創造 ～コミュニケーションを活用した授業の工夫を通して～

**本校で育成しようとする資質・能力**

【知識及び技能】○知識 ○技能 【思考力、判断力、表現力等】①課題解決能力 ②表現力 【学びに向かう力、人間性等】③主体性 ④協調性 ⑤公共心

**総合的な学習の時間の目標**

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる横断的・総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。

- (1) 三原の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
- (2) 三原の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査をして得た情報を基に考えるための技法を活用しながら、考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
- (3) 三原の人、もの、ことに関わる探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、積極的に社会のために役立つようとする態度を育てる。

**各学年の学習内容・指導の重点（育成したい資質・能力）**

学年・テーマ	知識及び技能 ○知識 ○技能	思考力、判断力、表現力等 ①課題解決能力 ②表現力	学びに向かう力、人間性等 ③主体性 ④協調性 ⑤公共心
<b>【第1学年】</b> 様々な角度から三原を見つめ、三原の課題の解決策を提案しよう	(知) 宮浦や三原の現状を把握し、三原が抱える課題の解決のためにさまざまな努力をしていることに気付く。 (技) 課題の解決に向けて、様々な情報を収集し、複雑な問題状況における事実や関係を把握し、事象を比較する、分類する、関連付ける等考えるための技法を身に付ける。	①知識や情報を活用することを通して、その課題の解決方法を見いだそうとしている。 ②さまざまな方法で収集した情報を、ことばや図、表などを用いて、相手にわかりやすく伝えようとしている。	③課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。 ④自らの考えをわかりやすく他者に伝えたり、他者の意見を謙虚に受け止め、協力して目標を達成しようとしている。 ⑤地域の課題を考え解決しようとしている。
<b>【第2学年】</b> (1)職場体験学習から自己の生き方を見つめよう (2)災害から自己の生き方を考えよう (3)三原を様々な視点から見つめなおそう	(知) 働くことの意義や自分達が住んでいる地域や社会の現状を知り、自己の生き方についての探究活動を通して、自己理解や地域理解を深める。また、防災についての知識を身に付ける。 (技) 課題の解決に向けて、複雑な問題状況における事実や関係を把握し、事象を比較する、分類する、関連付ける等考えるための技法を身に付ける。	①自分自身の特性や課題を見つめ、職場体験学習や修学旅行を通して、実際に社会で必要とされる資質・能力に気づき、それを身に付けることができる。 ②さまざまな方法で収集した情報を、ことばや図、表などを用いて、わかりやすくまとめ、表現することができる。	③課題に対して、自ら進んで取り組み解決しようとする。 ④自分と異なる意見や立場を大切に、よりよい解決に向けて協力して取り組もうとしている。 ⑤社会の一員としての自覚を持ち、場所、相手や自分の立場をわきまえた行動ができる。
<b>【第3学年】</b> 自己を見つめこれからの生き方を考えよう	(知) 人は誕生してからどのように成長していくのかに気づき、その発達段階に応じた対応の仕方について考えとともに、人が成長するためには様々な人が関わっていることに気付く。 (技) 課題の解決に向けて、複雑な問題状況における事実や関係を把握し、事象を比較する、分類する、関連付ける等考えるための技法を身に付ける。	①課題に対して、解決のための最善策を見だし、効率よく解決することができる。 ②自分の将来設計をイメージし、自分の考えや意見を、わかりやすくまとめ、適切な方法で相手に伝わるように表現することができる。	③課題に対して、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択して、自ら進んで取り組もうとしている。 ④多様な他者の考えや立場を受け入れ、自分の考えと比較し、調整することで最善解を見いだそうとしている。 ⑤保育実習や進路実現に向けての取組の中で、社会の一員としての自覚を持ち、公共の利益のためになることを考え、進んで行動しようとしている。

指導方法	指導体制	評価計画
○体験活動と事前事後指導を充実させる。 ○言語活動を充実させ、育成しようとする資質・能力の育成を図る。 ○各教科で習得した知識・技能を活用させる。 ○協働的な学習により他者と意見交流させる。	○教師間の連絡調整会議の実施 ○地域のゲストティーチャーの積極的な活用 ○校外における安全な活動を保つための関係機関・保護者との連絡調整	○評価の観点と評価規準の設定 ○個の伸長を見取るためのポートフォリオ評価の実施 ○年間指導計画の評価計画書の作成とその実施

**各教科との関連**

国語	・自分の気持ちを相手に理解してもらえようように話したり、話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりしながら、さまざまな材料を基にして自分の考えを深め、立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付けさせるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。	音楽	・基礎的な表現の技術を身に付け、創造的に表現する態度を育てる。創意工夫し、美しく表現する能力を育てる。
		美術	・対象を深く観察する力、感性や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や基礎的な知識と技術を身に付け、多様な表現方法や造形要素に関心をもち、創意工夫し美しく表現する能力を育てる。
社会	・身近な地域に対する関心を深め、資料を適切に選択、活用して多面的・多角的に考察し、適切に表現する能力や態度を育てる。	保健 体育	・運動における競争や協同の経験を通して、公正な態度や、進んで規則を守り、互いに協力して責任を果たそうとする態度を育てる。
数学	・問題を解決する手段を様々な角度から探す力を育てる。数量的な関係を整理し、まとめる能力を育てる。	技術 家庭科	・実践的・体験的な活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。
理科	・自分たちの住んでいる自然環境に興味を持ち、それを保全していこうとする態度を育てる。	道徳	・道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神を持って、公共の福祉と社会の発展に努めようとする態度を育てる。
外国語	・言語や文化に対する理解を深めるとともに、言語を使用して、お互いの意思を伝え合い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	特別 活動	望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主性、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を活かす能力を養う。

地域との連携	異校種との連携
○地域の商工会議所や公共施設と連携 ○地域事業所と連携 ○地域の社会福祉施設等の関係機関と連携	○中学校区内の小学校との連携 ○市内の各中学校との連携 ○市内の各高等学校との連携